

兵庫県職員 リハビリテーション部門の紹介



(令和7年度版)

配置図



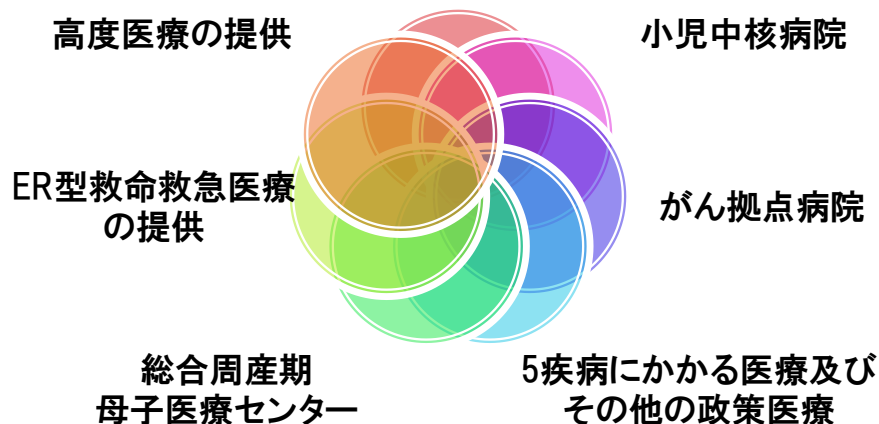
兵庫県職員セラピスト数(R7年4月)

| | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 合 計 |
|----------------|-------|-------|-------|-----|
| 尼崎総合医療センター | 21 | 10 | 8 | 39 |
| 西宮病院 | 14 | 8 | 4 | 26 |
| 加古川医療センター | 11 | 7 | 5 | 23 |
| はりま姫路総合医療センター | 29 | 8 | 5 | 42 |
| 丹波医療センター | 21 | 6 | 4 | 31 |
| 淡路医療センター | 13 | 6 | 3 | 22 |
| ひょうごこころの医療センター | 1 | 8 | 0 | 9 |
| こども病院 | 5 | 1 | 4 | 10 |
| がんセンター | 5 | 1 | 1 | 7 |
| 身体障害者更生相談所 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 但馬長寿の郷 | 6 | 1 | 0 | 7 |
| 病院局 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合 計 | 128 | 56 | 34 | 214 |

※正規職員・再任用職員のみ



病床数730床：一般病床548床、ER型救命救急センター54床(救急集中治療室、救急病棟)、重症対応病床57床(EICU・GICU・GHCU・CCU・CHCU・SCU)、小児集中治療室(PICU)8床、母体・胎児集中療室(MFICU)6床、新生児集中治療室(NICU・GCU)27床、手術室18床、無菌室22床、感染症病床8床、精神科身体合併症管理病床8床



運営の基本方針

- ☐ 阪神地域中核病院としての「高度専門・救急医療」
- ☐ 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- ☐ 救急・紹介を「断らない医療」
- ☐ 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- ☐ 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」



尼崎総合医療センター

- ☐ 特殊性・専門性の高いリハビリテーションの実施及び先進的リハビリテーション治療の導入を推進する
- ☐ 高度急性期医療におけるリハビリテーションに対応できるセラピストの育成
- ☐ ロボット技術を用いた先端テクノロジカルリハビリテーションの推進



理学療法 (PT)

- ・ 多種多様な疾患に対応しています。
- ・ 小児疾患、心疾患に対するリハ、脳卒中ケア病棟でのリハを行っています。

作業療法 (OT)

- ・ 入院早期よりADL訓練、高次脳機能訓練を行っています。
- ・ 神経難病の患者さんへの支援を積極的に行っています。

言語聴覚療法 (ST)

- ・ 小児から成人まで幅広く言語療法を行っています。
- ・ 摂食嚥下療法は耳鼻科と密に連携して行っています。

人員

理学療法士 28名

作業療法士 10名

言語聴覚士 10名

男性 24名 女性 24名

20～30代のスタッフが多く活躍している職場です！！

Message

疾患別にチームに分かれており、より詳しく、様々な領域のリハビリテーションを学ぶことができます。
(PT5年目)

リスク管理を学びながら、患者様の生活を見据えた介入を行なうことができます。また悩んだときは先輩方に相談しやすく、丁寧に教えてくださいます。
(OT4年目)

乳児から成人まで脳卒中や神経難病、嚥下、がん、聴覚などAGMCならではの患者様に関わることができます。
(ST5年目)

病院のホームページ
QRコードはこちら↓





私たちは、患者さんの意思を尊重し、
高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します

病床数：一般病床400床

- E R型救命救急センター(EICU) 10床
- 新生児集中治療室(NICU) 6床
- 脳卒中ケアユニット(SCU) 3床
- ハイケアユニット(HCU) 4床

21分野の診療科

救命救急センター
地域災害拠点病院

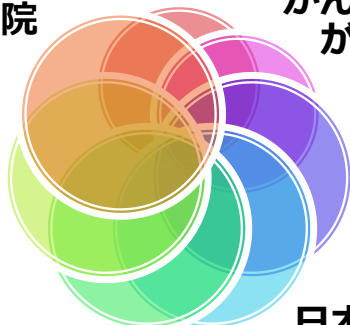
兵庫県指定
がん診療連携拠点病院
がん総合センター

地域医療支援
病院

地域周産期
母子医療
センター

腎疾患総合医療
センター

日本医療機能
評価機構認定
病院



- ☐ 400床の急性期病院です
- ☐ 多種多様な疾患を経験することが出来ます
- ☐ 在宅復帰に力を入れています
- ☐ 腎疾患に対するリハビリテーションを積極的に行っていく予定です



〒662-0918

兵庫県西宮市六湛寺町13-9

Tel.0798-34-5151 (代表) Fax.0798-23-4594



兵庫県立西宮病院 リハビリテーション部



特 徴

第3次救命救急センター併設であり、整形外科疾患、中枢神経疾患、呼吸器疾患、心疾患を中心とした急性期リハビリテーション

コミュニケーションが良好で、和気あいあいとしており
学会、研修会などに参加しやすく、休暇も取りやすい職場環境



理学療法 (PT)

- 各分野に認定療法士がいるので相談しやすいよ。
- 自分の極めたい分野を深く勉強することができるよ。



作業療法 (OT)

- 対象疾患が多く、いろんな患者様と接することができるよ。
- ICUから積極的に携われるよ。



言語聴覚療法 (ST)

- 多様な原因による嚥下障害を経験することで摂食嚥下障害に強くなりますよ。

対象疾患
運動器疾患
脳血管疾患
呼吸器疾患
心疾患
がん
廃用症候群

施設基準
運動器リハビリテーション料 I
脳血管リハビリテーション料 I
呼吸器リハビリテーション料 I
心大血管リハビリテーション料 I
廃用症候群リハビリテーション料 I
がん患者リハビリテーション料

人員
理学療法士 13名
作業療法士 8名
言語聴覚士 4名
男性 14名、女性 11名

救急や交通外傷をはじめ様々な疾患に対する知識、技術が身に付きます。
(PT12年目)

休みを多くとりやすいので仕事とプライベートの両立が可能です。
(OT9年目)

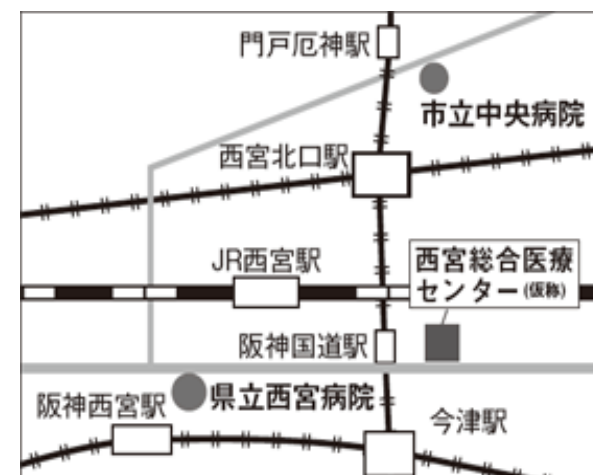
スタッフ同士、話しやすく気軽に相談や情報交換ができるので、とても心強いです。
(ST15年目)



西宮市立中央病院との統合再編について



- 名 称 : 西宮総合医療センター（仮称）
- 場 所 : 西宮市津門大塚町（敷地面積：約26,000㎡）
- 診療科目 : 35診療科（心臓血管外科、脳神経内科、精神科を新設）
- 病床数 : 552床（一般病床544床、精神科病床8床）
- 開院予定 : 2026年度（令和8年度）





兵庫県立加古川医療センター

Hyogo Prefectural Kakogawa Medical Center



基本方針



常に医療水準の向上を図り、安全な高度専門医療を提供いたします



生命の尊厳と人権を尊重し、思いやりに満ちた患者中心の医療を実践します



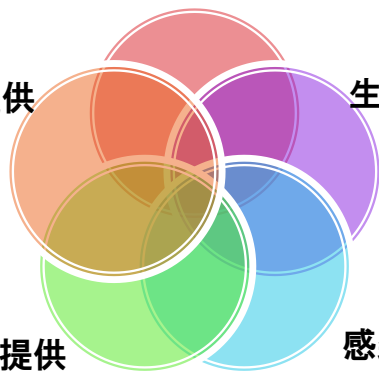
地域の医療機関との相互連携を深め、効果的で効率的な医療を推進します



職員一人ひとりが自己研鑽に努め、次代を担う人間性豊かな医療人を育成します

やさしさとぬくもりのある質の高い医療を実践し、地域の基幹病院として住民の安心に貢献します。

東播磨地域における
3次救急医療の提供



神経難病医療の提供

生活習慣病に対する
医療の提供

緩和ケア医療の提供

感染症医療の提供

バス：

- ・JR加古川駅北口より約15分
- ・JR東加古川駅より約12分
- ・JR神野駅より約15分

車：

- ・東播磨道 県立加古川医療センターランプから約2分



〒675-8555 兵庫県加古川市神野町神野203
TEL:079-497-7000(代表) FAX:079-438-8800(代表)

兵庫県立加古川医療センター リハビリテーション部



特徴

- 専従のリハビリテーション医のもと、早期からの急性期リハビリテーションを実施し、退院や地域の回復期病院へとつないでいます。
- リウマチ患者さんへのリハビリテーションや、緩和ケア病棟でのがんリハビリテーションを行っています。
- 神経難病などの患者様に対し、リハビリ入院による定期的かつ集中的なリハビリテーションを提供しています。



理学療法(PT)

- ICUや救命病棟にて超急性期から介入。
- 整形外科術後が半数を占めます。
- 本年度から障害者病棟が開設、リハ入院での加療を行っています。

作業療法(OT)

- リスク管理下で離床、ADL練習、上肢の機能的練習を実施。
- 手の外傷、RA術後のハンドセラピー、手の装具療法も行っています。

言語聴覚療法(ST)

- 摂食嚥下障害が多く、失語症、構音障害、高次脳機能障害にも対応しています。
- 神経難病を抱える患者様へ口腔体操や発声練習等も行います。



対象疾患

脳血管疾患
頭部外傷、脳卒中、脊髄損傷、脳腫瘍
神経筋の難病疾患
循環器疾患
慢性心不全、急性心筋梗塞
運動器疾患
四肢の外傷、脊椎疾患、リウマチ
呼吸器疾患
がん 等々

施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション科 I
心大血管疾患リハビリテーション科 I
廃用症候群リハビリテーション科 I
運動器リハビリテーション科 I
呼吸器リハビリテーション科 I
がん患者リハビリテーション科
集団コミュニケーション療法

人員

リハビリテーション専従医 1名
理学療法士 13名（非常勤2名含む）
作業療法士 8名（非常勤1名含む）
言語聴覚士 6名（非常勤1名含む）
音楽療法士 1名（週4日勤務）
男性16名、女性13名

超急性期から緩和ケアの患者さまとの関わりを通し命の尊さを日々感じながら奮闘しています。
(PT9年目)

早期から患者様のADL拡大に関われ、やりがいを感じます。装具作成等の特色もあり、専門職としてのスキルアップも目指せる環境です！
(OT8年目)

様々な疾患を抱えた患者様を経験することができ、自身のスキルアップを感じています。STだけでなく医療人としての専門性を高められる環境です。
(ST5年目)



兵庫県立 はりま姫路総合医療センター



基本理念

わたしたちは「和」と「愛」をもって、
人を「幸せ」にするために、安心して信頼
される最良の医療を提供します。

愛称：はり姫

736床：30を超える診療科、高度専門医療
急性期医療、救急医療
医療人材育成、臨床研究



〒670-8560 姫路市神屋町3丁目264番地
TEL：079-289-5080 FAX：079-289-2080





概要

- はり姫では、リハビリテーションを「患者さんとともに」行います。
- リハビリテーションスタッフは「あなたらしい暮らしの再構築」を全力でサポートします。



理学療法 (PT)

- 脳神経疾患、循環器疾患、整形外科疾患を中心に対応しています。
- 多種のチーム医療で活動しています。

作業療法 (OT)

- 脳神経疾患、整形外科疾患を中心に循環器疾患までOTも積極的に対応しています。

言語聴覚療法 (ST)

- 脳神経疾患や循環器疾患、摂食嚥下等に対応しています。
- 栄養サポートチーム (NST) でも活動しています。

対象疾患

脳血管疾患

神経変性疾患

循環器疾患

運動器疾患

呼吸器疾患

廃用症候群

施設基準

すべての
疾患別リハビリテーション料 I

がん患者リハビリテーション料

理学療法士：正 29名 非 4名

作業療法士：正 8名

言語聴覚士：正 5名 非 1名

男性 22名、女性 25名

人員

難しさを感じる場面もありますが、その分やりがいや学びも多く、日々成長を実感しています。スタッフ同士の距離も近く、相談しやすい環境です。

(PT 4年目)

幅広い疾患の患者さんがおられ、日々学びながら働くことができる環境です。

(OT 3年目)

多くの診療科や設備が揃っており、幅広い知識を身に付けることができます。綺麗で広いリハ室が自慢です！

(ST 8年目)

Message



兵庫県立丹波医療センター

Hyogo Prefectural Tamba Medical Center

診療科目 : 27診療科

許可病床数: 320床

稼働病床数: 320床 (急性期 204床 緩和ケア 22床)
(地域包括ケア45床 感染症4床)
(回復期リハ病棟45床)

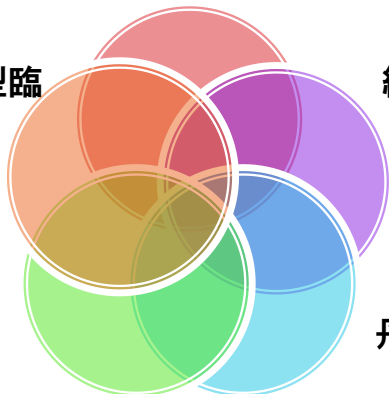
地域がん診療連携拠点病院

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院

緩和ケア・地域包括ケア病棟の設置

災害拠点病院

丹波地区3次の機能病院



基本方針

- ☐ 急性期から回復期まで幅広い医療の提供
- ☐ ハイブリッド施設群による地域包括ケアの実現
- ☐ 救急拠点施設としての医療の提供
- ☐ 地域医療にかかる人材の育成
- ☐ 安定した経営基盤の確立



〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生2002番地7
TEL: 0795-88-5200 (代表) FAX: 0795-88-5210 (代表)

丹波医療センターリハビリテーション部



特徴

急性期から回復期の治療を行っており、さらに地域スタッフとの連携を密に行い、切れ目のない医療を提供しています。多職種連携が取りやすい職場環境です。

急性期病棟と地域包括ケア病棟に加え、R4年度には回復期リハ病棟も開設されました。また、丹波市健康センターミルネの訪問看護ステーションにスタッフを派遣し、急性期から在宅までのリハを提供しています。



運動器科(PT)

・運動器疾患(人工関節含)や脳血管疾患、心臓疾患、小児疾患やがん疾患(緩和ケア含)などに対する理学療法を行っています。



作業療法科(OT)

・外傷による骨折や脳血管疾患を中心に対応しています。地域的手に高齢者が多く、認知症に対する作業療法もを行っています。



言語聴覚療法科(ST)

・脳血管疾患後の言語・コミュニケーション障害や摂食嚥下障害などに対する言語聴覚療法を行っています。

対象疾患

脳梗塞、脳内出血

骨折、変性疾患(人工関節)

肺炎、肺気腫

廃用症候群

脳性麻痺、発達障害

がん、心疾患 等々

施設基準

脳血管リハビリテーション料Ⅰ

廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ

運動器リハビリテーション料Ⅰ

呼吸器リハビリテーション料Ⅰ

心大血管リハビリテーション料Ⅰ

がん患者リハビリテーション料

人員

理学療法士 24名

作業療法士 6名

言語聴覚士 4名

男性20名 女性14名

多職種連携で質の高いリハが提供できるよう取り組んでいます。
(PT12年目)

Message

職場は活気があり和気あいあいとした雰囲気です。先輩方は優しく、親切丁寧に指導して下さいます。
(OT12年目)

他部門のスタッフとの関係も良好です。リハ部門内での連携も密で働きやすい職場です。
(ST5年目)



兵庫県立淡路医療センター

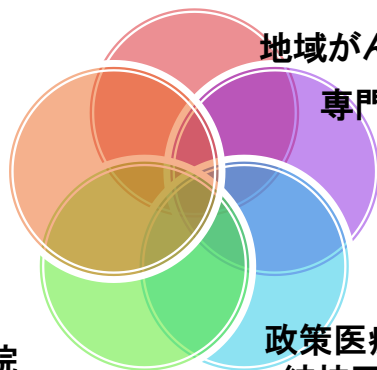
HYOGO PREFECTURAL AWAJI MEDICAL CENTER

402床：(救急・ICU・HCU25床、一般病棟313床、
精神病棟45床、結核病床15床、感染症病床4床)

救急医療を含む専門的な
急性期医療等の提供

災害時における
医療の確保

厚生労働省
臨床研修病院
(医科、歯科)



地域がん診療連携拠点病院として
専門的ながん医療の提供

政策医療の提供(精神医療、
結核医療、感染症医療等)



基本理念

中核病院として、良質・安全な医療を提供し、地域に貢献します

患者さん中心のチーム医療の推進

救命救急を含む急性期医療の提供

災害医療、がん医療等の高度専門医療の充実

地域医療支援病院としての医療・保健・福祉機関との連携

高齢化の進展を踏まえた地域包括ケアシステム推進の支援

医療水準の向上を目指した教育研修機能の強化

地域医療の中核病院として、良質・安全な医療を提供し、地域に貢献します。



〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-137

TEL:0799-22-1200(代表) FAX:0799-24-5704(代表)

兵庫県立淡路医療センター リハビリテーション部



特徴

- ☐ 急性期のリハビリ・治療を行っています。
- ☐ 院内スタッフ・地域との連携をしっかりと行っています。
- ☐ 地域連携パスを島内で積極的に使用しています。



理学療法(PT)

・16名で脳血管、運動器、心臓リハビリ、ICU・EICUでの急性期の早期離床、がんのリハビリを行っています。



作業療法(OT)

・身障部門5名、精神科部門1名で対応しています。主に、脳血管、運動器、精神科の急性期のリハビリテーションを行っています。



言語聴覚療法(ST)

・摂食嚥下障害をはじめ、失語症、構音障害、高次機能障害など、多岐にわたる疾患を、3名で対応しています。

対象疾患

脳梗塞、脳内出血(地域連携パス)
大腿骨近位部骨折(地域連携パス)
心筋梗塞、心臓外科術後、ASO
骨折、人工関節、脊椎脊髄疾患
がん
呼吸器疾患、廃用症候群
精神疾患 等々

施設基準

脳血管リハビリテーション料Ⅰ
心大血管リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
廃用症候群 リハビリテーション料Ⅰ
精神科作業療法

人員

理学療法士16名
作業療法士6名
言語聴覚士3名
男性14名、女性11名
20代、30代の職員が多いです

気軽に質問のできる環境で、目標となる先輩がたくさんいます。多様な疾患に対する理学療法を経験することが出来ます。
(PT5年目)

様々な分野の疾患を経験することができ、難しいことありますが、やりがいのある職場です。
(OT4年目)

特に摂食嚥下領域のリハビリを実施する事が多いです。他職種と連携してあらゆる疾患に対応するため、日々多くのことを学べます。
(ST7年目)



兵庫県立ひょうごこころの医療センター Hyogo Mental Health Center



254床:精神科一般入院病床:60床

精神科救急入院病床:129床

児童思春期精神科入院病床:65床



基本理念

☐ 人としての尊厳を大切にし、だれもが安心できる医療を提供します。

基本方針

1. 人権を守り、利用者に配慮した最善、最良の医療を提供します。
2. 医療の質を高め、利用者と協働した医療を実践します。
3. 全職員の専門性を結集し、全人的医療を行います。
4. 利用者の地域での暮らし、社会参加を支援します。
5. 地域の人々の医療・介護・保健・福祉に貢献し、地域の関係機関と連携し協働します。
6. 研修、研究、研鑽を通して、医療の発展に資し、優れた医療人を育成します。
7. 兵庫県の精神科医療の基幹病院として、医療水準の向上を図り、安定した病院経営に努力します。



JR・阪神・阪急
ポートライナー
各線 三宮駅



神戸市営地下鉄
三宮駅

地下鉄12分



谷上駅

徒歩8分

ひょうご
こころの
医療センター

〒651-1242兵庫県神戸市北区山田町上谷上字登尾3
TEL:078-581-1013(代) FAX:078-581-3797(代)



兵庫県立ひょうごこころの医療センター 地域ケア部

特徴



こどもから高齢者まで、あらゆる年代の患者さんを対象にしています

急性期から回復期のリハビリテーションを行っています

地域関係機関と密に連携をとっています



デイ・ケア

・集団療法を中心としたリハビリテーションを行います。思春期プログラムほか、多様なプログラムを通じて一人一人にあった社会参加をめざしています

作業療法

・入院早期から介入し、在宅移行のための作業遂行能力、生活能力の評価と地域社会への移行支援、訪問による在宅定着支援等を行っています

外来療育

・発達障害のある者に対して、社会生活技能や認知技能の改善、遊びや趣味活動の促進をしています。また、家族支援にも取り組んでいます

対象疾患

統合失調症
アルコール依存症
気分(感情)障害
発達障害
神経症性障害 等々

施設基準

精神科デイ・ケア
精神科ショート・ケア
精神科作業療法
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
障害児(者)リハビリテーション料

人員

理学療法士1名
作業療法士8名
言語聴覚士2名
精神保健福祉士1名
看護師3名
事務員1名
男性6名、女性10名

患者様を中心に話し合い、多職種の皆さんと気軽に相談できる職場です。また、患者様はとても温かく、自然とこころがなごみます。患者様が作業療法を通し、その人らしい生活が送れるよう、一緒に考えつつ日々勉強しています。(OT3年目)

Message



兵庫県立こども病院

HYOGO PREFECTURAL
KOBE
CHILDREN'S
HOSPITAL



290床：小児専門医療（集中治療室36床、その他152床）
小児救命救急センター19床、総合周産期母子医療センター83床



基本理念・基本方針(①～⑧)

周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。

- ①患者の権利を尊重した医療の実践
- ②安全・安心と信頼の医療の遂行
- ③高度に専門化されたチーム医療の推進
- ④地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
- ⑤親とこどもが一体となった治療の推進
- ⑥こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
- ⑦医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
- ⑧継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL：078-945-7300（代表） FAX：078-302-1023（代表）



兵庫県立こども病院リハビリテーション部

特徴

- ワークライフバランスを大切にしている職場です。
- 研究など、自己研鑽の場が与えられています。
- 病院が新しく明るい。
- こどもが楽しめるような待合スペースもたくさんあり、雰囲気が明るいです。



理学療法 (PT)

- 様々な小児疾患の新生児期、急性期から関わります。
- こどもたちに「させる」のではなく「導き出す」アプローチしてみませんか？



作業療法 (OT)

- 新生児科、脳外科と血液腫瘍内科、整形外科の子どもに介入しています。
- 発達、機能向上を促しています。



言語聴覚療法 (ST)

- 新生児の急性期から介入しています。
- 聴覚、嚥下、言語発達、高次脳全て経験できます。

対象疾患

- 脳血管疾患
- 運動器疾患
- 呼吸器疾患
- 廃用症候群
- 障害児 (者)
- がん 等々

施設基準

- 脳血管リハビリテーション料Ⅱ
- 廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ
- 運動器リハビリテーション料Ⅰ
- 呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- がん患者リハビリテーション料
- 集団コミュニケーション療法
- 障害児 (者) リハビリテーション料

人員

- 理学療法士 5 名
- 作業療法士 1 名
- 言語聴覚士 4 名

男性 6 名、女性 4 名

20代 1 名、30代 5 名、40代 2 名、50代 1 名
60代 1 名

PT・OT・STともコミュニケーションがとりやすい温かい雰囲気の職場です。

経験豊富な先輩が丁寧に指導してくれます。

産休・育休・時短などを利用しながら活躍できます。



都道府県がん診療連携拠点病院 兵庫県立がんセンター

総病床数360床

厚生労働省指定都道府県
がん診療拠点病院

厚生労働省治験
拠点医療機関



厚生労働省指定協
力型臨床研修病院

各医学会
認定/研修施設

緩和ケアセンター

日本骨髄バンク移植認定施設



基本理念・基本方針



患者さんの意向を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を推進します。



都道府県がん診療連携拠点病院として 地域と連携したがん医療を県下の先頭に立って推進します。



患者さんの意思を尊重し、正確な医療情報に基づいた信頼される医療を行います。



がん医療の進展を反映した高度先進医療を行います。



チーム医療を基本として、社会的支援とともにあたたかい医療を推進します。



たゆまぬ努力による持続可能な経営基盤の確立を目指します。



教育と研修を充実し、がん医療の発展を担う人材を育成します。

〒673-8558 兵庫県明石市北王子町13番70号
TEL:078-929-1151 FAX:078-929-2380



対象疾患

がん
脳血管疾患
運動器疾患
呼吸器疾患
廃用症候群

施設基準

がん患者リハビリテーション料
脳血管リハビリテーション料Ⅱ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ

人員

理学療法士5名
作業療法士1名
言語聴覚士1名

兵庫県立がんセンター リハビリテーション部

特徴

- がん治療に特化した病院です。国から指定を受けている兵庫県の都道府県拠点病院として、兵庫県のがん治療の中核を担います。
- がん治療の予防、回復、維持、緩和期、全経過を通じて個々の症状に適したリハビリを実施しています。

理学療法 (PT)



- ・ 自宅で安心して生活出来るよう本人・家族の支援に力を入れています。
- ・ 多職種と意見交換をする機会も多く、幅広い視点で学ぶことが出来ます。

作業療法 (OT)



- ・ 頭頸部/歯科口腔外科、乳腺外科等、様々な疾患に介入しています。
- ・ リンパ浮腫に対する運動療法も実施しています。

言語聴覚療法 (ST)



- ・ 内科疾患のみでなく頭頸部癌・食道がんを中心とした様々な外科疾患のリハビリについて学べます。
- ・ 多職種との連携を大切にしています。

動作面から精神面まで、ここでしか学べないことがたくさんあります。

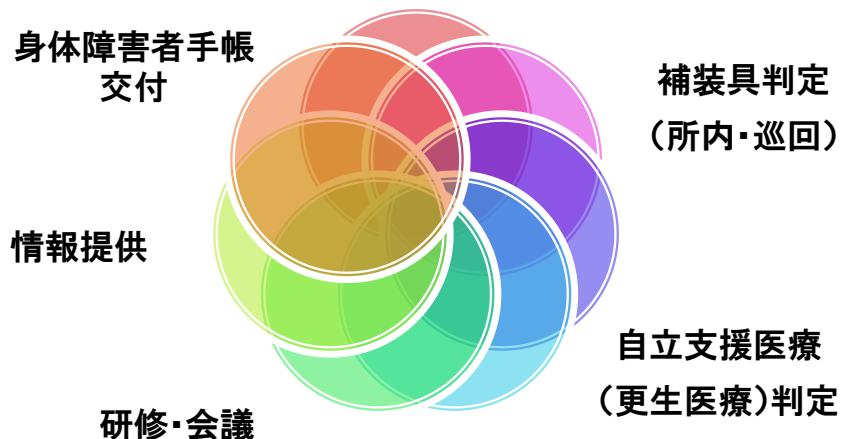
その人なりの、その人らしい生活を「作業」を通じて一緒に支援しませんか？

専門病院ならではの学びや経験が出来ます。コミュニケーションも他職種だけでなくリハビリ科内でも取りやすく働きやすい職場です。

兵庫県立身体障害者更生相談所



主な業務



身体障害者更生相談所は、身体障害者福祉法第11条に基づき設置されている専門機関です。

(11条)

都道府県は、身体障害者の更生援護の利便のため、及び市町村の援護の適切な実施の支援のため、必要の地に身体障害者更生相談所を設けなければならない。



〒651-2134 兵庫県神戸市西区曙町1070
TEL:078-927-2727(代表)
FAX:078-927-2745

兵庫県立身体障害者更生相談所



対象者

身体上に障害がある18歳以上の人
神戸市(手帳はさらに西宮、尼崎、
姫路、明石)を除く

補装具

義肢、装具、座位保持装置、車椅子、
電動車椅子、重度意思伝達装置等

自立支援医療(更生医療)

人工股(膝)関節置換、ペースメーカー
植込、血液透析、HIV等

身体障害者手帳

視覚障害、聴覚・平衡機能障害、音
声・言語・そしゃく機能障害肢体不自由
心臓機能障害、じん臓機能障害等

スタッフ

事務職員のほか、医師、理学療法士、
看護師、身体障害者福祉司等
計16名

理学療法士は補装具判定(主に姿
勢保持装置)の専門的助言や身体障
害全般の指導助言を行う

判定場面
(身体状況
の確認)



但馬長寿の郷とは

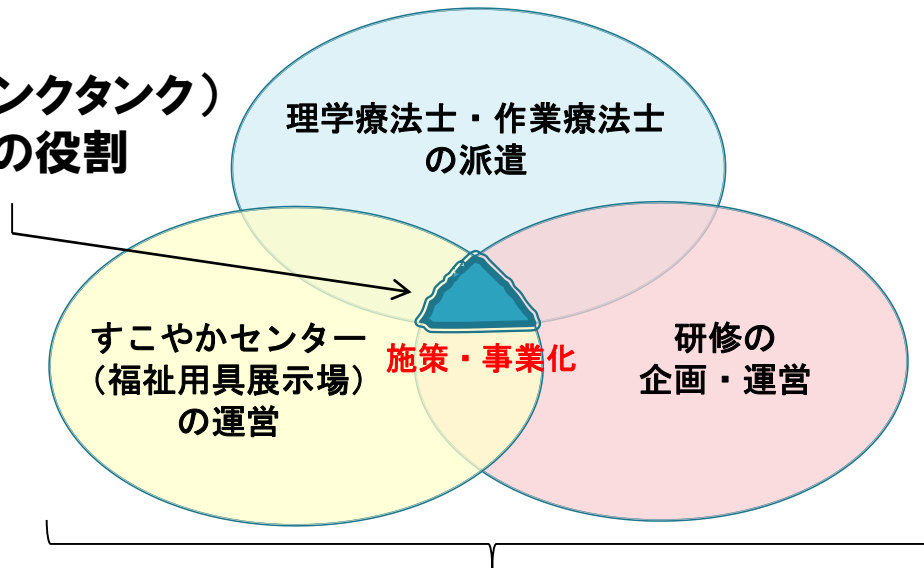
いい、ふれあい、学び、楽しむ。
但馬長寿の郷

過疎と高齢化の著しい但馬地域を「生きがいに満ち、安心して暮らせる地域」とするために県が設置した地方機関です。

医療機関のように治療に携わることは出来ませんが、元気な方から要介護の方まで、地域の高齢者の暮らしを支える役割を担っています。

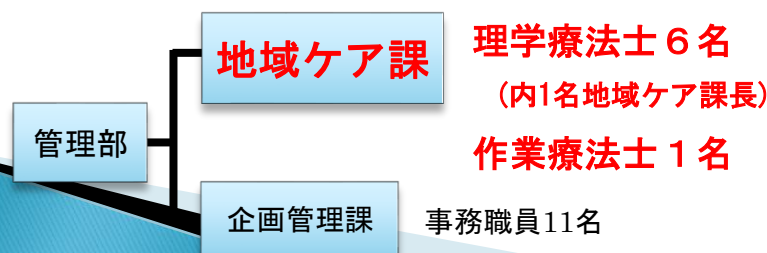
施策体系（地域ケア課事業）

行政職(シンクタンク)としての役割



リハ専門職としての役割

組織体系



フォロー、お友だち登録よろしくね！



Instagram



LINE公式アカウント



〒667-0044兵庫県養父市八鹿町国木594-10

TEL 097-662-8456

FAX 079-662-9959

○「リハ専門職」としての役割

理学療法士・作業療法士の派遣



公民館で体操指導



虚弱高齢者への運動指導



ケアマネジャーと在宅訪問



介護施設スタッフへの指導

すこやかセンターの運営



展示場の見学・相談



福祉用具の研究開発支援



負担の少ない介助技術指導



実践発表を通じた連携

研修の企画・運営

○「行政職」（シンクタンク）としての役割

リハ専門職としての関わりを通して得られた知見等を基に、市町が実施する施策等への支援を行います。



- 地域課題の調査と対策の提言
- 市町が実施する事業の企画や評価の支援
- 介護事業所の職場定着・人材育成支援
- 介護職を対象にした専門研修の企画
- 国の動向の解説と情報提供 …etc

**経験豊富な先輩が責任を持って教育します。
今までにない新しい分野で共に頑張ってみませんか？**